

<p>工事名 東鷲宮駅東口立体施設整備工事（建築）</p> <p><b>特記仕様書</b></p> <p>I 工事概要</p> <p>1. 工事場所 久喜市桜田1丁目地内</p> <p>2. 敷地面積 1 827.46㎡</p> <p>3. 工事種目 (建物概要)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>エレベーター棟新設工事</li><li>エスカレーター 落下防止フレーム新設工事</li><li>シエルト架設工事</li></ul> <p>4. 工期 契約工期 契約日から令和 年 月 日まで 共通仮設費の算定に用いる工期 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間 現場施工に着手するまで 現場代理人の専任を要しない期間 現場施工に着手するまで 現場施工期間 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで ただし、仮設工事等は施設との互換による</p> <p>5. 工事範囲</p> <ul style="list-style-type: none"><li>※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。</li><li>※「3. 工事種目」のうち の工事範囲は下記表のとおりとする。</li><li>ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。</li></ul> <table border="1"><tr><td>2 仮設工事</td><td>※工事範囲全て</td></tr><tr><td>3 土工</td><td>※工事範囲全て</td></tr><tr><td>4 地盤工事</td><td>※工事範囲全て</td></tr><tr><td>5 鉄筋工事</td><td>※工事範囲全て</td></tr><tr><td>6 コンクリート工事</td><td>※工事範囲全て</td></tr><tr><td>7 鉄骨工事</td><td>※工事範囲全て</td></tr><tr><td>8 コンクリート吹付け・ALCパネル 押出成形セメント板工事</td><td>※工事範囲全て</td></tr><tr><td>9 防水工事</td><td>※工事範囲全て</td></tr><tr><td>10 石工事</td><td>※工事範囲全て</td></tr><tr><td>11 タイル工事</td><td>※工事範囲全て</td></tr><tr><td>12 木工</td><td>※工事範囲全て</td></tr><tr><td>13 屋根及びとい工事</td><td>※工事範囲全て</td></tr><tr><td>14 金具工事</td><td>※工事範囲全て</td></tr><tr><td>15 左官工事</td><td>※工事範囲全て</td></tr><tr><td>16 建具工事</td><td>※工事範囲全て</td></tr><tr><td>17 カーテンウォール工事</td><td>※工事範囲全て</td></tr><tr><td>18 塗装工事</td><td>※工事範囲全て</td></tr><tr><td>19 内装工事</td><td>※工事範囲全て</td></tr><tr><td>20 ユニットの設置</td><td>※工事範囲全て</td></tr><tr><td>21 排水工事</td><td>※工事範囲全て</td></tr><tr><td>22 舗装工事</td><td>※工事範囲全て</td></tr><tr><td>23 橋梁及び壁面緑化工事</td><td>※工事範囲全て</td></tr></table> <p>II 建築工事仕様</p> <p>(1) 質問書、本特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて「埼玉県建築工事特別共通仕様書」及び国土交通省大臣官房官庁設備部監修「公共建築工事標準仕様書・建築工事編」(以下、「標準仕様書」という。)による。</p> <p>(2) 標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法を明示している場合において、それらが関係法令等(条例を含む)と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。</p> <p>(3) 特記仕様の表記</p> <p>1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 3) 特記事項は、「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法を明示している場合において、それらが関係法令等(条例を含む)と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。</p> <p>(4) 特記事項に記載の「 . . . 」内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。</p> <p>(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、( )内は製品名を示す。</p> <p>(6) 本工事において、「環境物品等の調達に関する基本方針」(令和5年2月24日変更関係決定)及び、「埼玉県グリーン調達・環境配慮調達方針(最新版)」による特定調達品目のうち「判断基準」を満たす環境物品等(以下「特定調達品等」という。)を選択するよう努めるものとする。</p> <p>なお、[G]印は設計図書で定めのある品目を示す。</p> <p>7) 注は標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。</p>	2 仮設工事	※工事範囲全て	3 土工	※工事範囲全て	4 地盤工事	※工事範囲全て	5 鉄筋工事	※工事範囲全て	6 コンクリート工事	※工事範囲全て	7 鉄骨工事	※工事範囲全て	8 コンクリート吹付け・ALCパネル 押出成形セメント板工事	※工事範囲全て	9 防水工事	※工事範囲全て	10 石工事	※工事範囲全て	11 タイル工事	※工事範囲全て	12 木工	※工事範囲全て	13 屋根及びとい工事	※工事範囲全て	14 金具工事	※工事範囲全て	15 左官工事	※工事範囲全て	16 建具工事	※工事範囲全て	17 カーテンウォール工事	※工事範囲全て	18 塗装工事	※工事範囲全て	19 内装工事	※工事範囲全て	20 ユニットの設置	※工事範囲全て	21 排水工事	※工事範囲全て	22 舗装工事	※工事範囲全て	23 橋梁及び壁面緑化工事	※工事範囲全て	<p>章 項目</p> <p>① ① 通用基準等</p> <p>② 条件明示事項</p> <p>③ 工事実績情報(おこなったこと)</p> <p>④ 適用区分</p> <p>⑤ 別契約の関連工事</p> <p>⑥ 施工に注意を要する区域等</p> <p>⑦ 工事の記録</p> <p>⑧ 電気保安技術者</p> <p>⑨ 施工条件</p> <p>⑩ 施工中の安全確保</p> <p>⑪ 施工中の環境保全等</p> <p>⑫ 発生材の処理等</p> <p>⑬ 県産品の使用</p> <p>⑭ 環境への配慮</p> <p>⑮ 材料の品質等</p> <p>⑯ 技能士</p> <p>特記事項</p> <p>① 適用基準等</p> <p>※埼玉県建築工事業務要綱に記載の要領等 ※建築工事標準仕様書(国土交通省大臣官房官庁設備部監修「令和4年版」) ※建築工事標準仕様書(国土交通省大臣官房官庁設備部監修「令和4年版」) なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。</p> <p>② 条件明示事項</p> <p>③ 工事実績情報(おこなったこと)</p> <p>④ 適用区分</p> <p>⑤ 別契約の関連工事</p> <p>⑥ 施工に注意を要する区域等</p> <p>⑦ 工事の記録</p> <p>⑧ 電気保安技術者</p> <p>⑨ 施工条件</p> <p>⑩ 施工中の安全確保</p> <p>⑪ 施工中の環境保全等</p> <p>⑫ 発生材の処理等</p> <p>⑬ 県産品の使用</p> <p>⑭ 環境への配慮</p> <p>⑮ 材料の品質等</p> <p>⑯ 技能士</p> <p>⑰ 仮設工事</p> <p>⑱ 土工</p> <p>⑲ 地盤工事</p> <p>⑳ 鉄筋工事</p> <p>㉑ コンクリート工事</p> <p>㉒ 鉄骨工事</p> <p>㉓ コンクリート吹付け・ALCパネル 押出成形セメント板工事</p> <p>㉔ 防水工事</p> <p>㉕ 石工事</p> <p>㉖ タイル工事</p> <p>㉗ 木工</p> <p>㉘ 屋根及びとい工事</p> <p>㉙ 金具工事</p> <p>㉚ 左官工事</p> <p>㉛ 建具工事</p> <p>㉜ カーテンウォール工事</p> <p>㉝ 塗装工事</p> <p>㉞ 内装工事</p> <p>㉟ ユニットの設置</p> <p>㊱ 排水工事</p> <p>㊲ 舗装工事</p> <p>㊳ 橋梁及び壁面緑化工事</p>	<p>17 化学物質の濃度測定</p> <p>① 中間検査</p> <p>② 完成図等</p> <p>20 保証書</p> <p>21 その他</p> <p>② 仮設工事</p> <p>③ 土工</p> <p>④ 地盤工事</p> <p>⑤ 鉄筋工事</p> <p>⑥ コンクリート工事</p> <p>⑦ 鉄骨工事</p> <p>⑧ 左官工事</p> <p>⑨ 建具工事</p> <p>⑩ カーテンウォール工事</p> <p>⑪ 塗装工事</p> <p>⑫ 内装工事</p> <p>⑬ ユニットの設置</p> <p>⑭ 排水工事</p> <p>⑮ 舗装工事</p> <p>⑯ 橋梁及び壁面緑化工事</p> <p>⑰ 仮設工事</p> <p>⑱ 土工</p> <p>⑲ 地盤工事</p> <p>⑳ 鉄筋工事</p> <p>㉑ コンクリート工事</p> <p>㉒ 鉄骨工事</p> <p>㉓ コンクリート吹付け・ALCパネル 押出成形セメント板工事</p> <p>㉔ 防水工事</p> <p>㉕ 石工事</p> <p>㉖ タイル工事</p> <p>㉗ 木工</p> <p>㉘ 屋根及びとい工事</p> <p>㉙ 金具工事</p> <p>㉚ 左官工事</p> <p>㉛ 建具工事</p> <p>㉜ カーテンウォール工事</p> <p>㉝ 塗装工事</p> <p>㉞ 内装工事</p> <p>㉟ ユニットの設置</p> <p>㊱ 排水工事</p> <p>㊲ 舗装工事</p> <p>㊳ 橋梁及び壁面緑化工事</p> <p>① 測定方法</p> <p>② フロア材</p> <p>③ パンツ法</p> <p>④ 測定対象室</p> <p>⑤ 測定箇所</p> <p>⑥ 測定時期</p> <p>⑦ 報告書</p> <p>⑧ 中間検査</p> <p>⑨ 完成図等</p> <p>⑩ 保証書</p> <p>⑪ その他</p> <p>① 測定方法</p> <p>② フロア材</p> <p>③ パンツ法</p> <p>④ 測定対象室</p> <p>⑤ 測定箇所</p> <p>⑥ 測定時期</p> <p>⑦ 報告書</p> <p>⑧ 中間検査</p> <p>⑨ 完成図等</p> <p>⑩ 保証書</p> <p>⑪ その他</p>	<p>⑧ コンクリート・ブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事</p> <p>⑨ 防水工事</p> <p>1 補強コンクリートブロック造</p> <p>2 コンクリートブロック構築及び壁</p> <p>3 ALCパネル</p> <p>4 押出成形セメント板( ECP )</p> <p>1 アスファルト防水</p> <p>1 屋根保護防水</p> <p>2 防水工事</p> <p>3 現場表示</p> <p>4 工事用水</p> <p>5 工事用電力</p> <p>6 工事用搬入路</p> <p>7 仮囲い</p> <p>8 交通誘導員</p> <p>9 快速トイレ</p> <p>1 埋戻し及び盛土</p> <p>2 建設発生土の処理</p> <p>3 山留めの撤去</p> <p>④ 地盤工事</p> <p>⑤ 鉄筋工事</p> <p>⑥ コンクリート工事</p> <p>⑦ 鉄骨工事</p> <p>⑧ 左官工事</p> <p>⑨ 建具工事</p> <p>⑩ カーテンウォール工事</p> <p>⑪ 塗装工事</p> <p>⑫ 内装工事</p> <p>⑬ ユニットの設置</p> <p>⑭ 排水工事</p> <p>⑮ 舗装工事</p> <p>⑯ 橋梁及び壁面緑化工事</p> <p>⑰ 仮設工事</p> <p>⑱ 土工</p> <p>⑲ 地盤工事</p> <p>⑳ 鉄筋工事</p> <p>㉑ コンクリート工事</p> <p>㉒ 鉄骨工事</p> <p>㉓ コンクリート吹付け・ALCパネル 押出成形セメント板工事</p> <p>㉔ 防水工事</p> <p>㉕ 石工事</p> <p>㉖ タイル工事</p> <p>㉗ 木工</p> <p>㉘ 屋根及びとい工事</p> <p>㉙ 金具工事</p> <p>㉚ 左官工事</p> <p>㉛ 建具工事</p> <p>㉜ カーテンウォール工事</p> <p>㉝ 塗装工事</p> <p>㉞ 内装工事</p> <p>㉟ ユニットの設置</p> <p>㊱ 排水工事</p> <p>㊲ 舗装工事</p> <p>㊳ 橋梁及び壁面緑化工事</p> <p>① 測定方法</p> <p>② フロア材</p> <p>③ パンツ法</p> <p>④ 測定対象室</p> <p>⑤ 測定箇所</p> <p>⑥ 測定時期</p> <p>⑦ 報告書</p> <p>⑧ 中間検査</p> <p>⑨ 完成図等</p> <p>⑩ 保証書</p> <p>⑪ その他</p> <p>① 測定方法</p> <p>② フロア材</p> <p>③ パンツ法</p> <p>④ 測定対象室</p> <p>⑤ 測定箇所</p> <p>⑥ 測定時期</p> <p>⑦ 報告書</p> <p>⑧ 中間検査</p> <p>⑨ 完成図等</p> <p>⑩ 保証書</p> <p>⑪ その他</p> <p>① 測定方法</p> <p>② フロア材</p> <p>③ パンツ法</p> <p>④ 測定対象室</p> <p>⑤ 測定箇所</p> <p>⑥ 測定時期</p> <p>⑦ 報告書</p> <p>⑧ 中間検査</p> <p>⑨ 完成図等</p> <p>⑩ 保証書</p> <p>⑪ その他</p> <p>① 測定方法</p> <p>② フロア材</p> <p>③ パンツ法</p> <p>④ 測定対象室</p> <p>⑤ 測定箇所</p> <p>⑥ 測定時期</p> <p>⑦ 報告書</p> <p>⑧ 中間検査</p> <p>⑨ 完成図等</p> <p>⑩ 保証書</p> <p>⑪ その他</p> <p>① 測定方法</p> <p>② フロア材</p> <p>③ パンツ法</p> <p>④ 測定対象室</p> <p>⑤ 測定箇所</p> <p>⑥ 測定時期</p> <p>⑦ 報告書</p> <p>⑧ 中間検査</p> <p>⑨ 完成図等</p> <p>⑩ 保証書</p> <p>⑪ その他</p> <p>① 測定方法</p> <p>② フロア材</p> <p>③ パンツ法</p> <p>④ 測定対象室</p> <p>⑤ 測定箇所</p> <p>⑥ 測定時期</p> <p>⑦ 報告書</p> <p>⑧ 中間検査</p> <p>⑨ 完成図等</p> <p>⑩ 保証書</p> <p>⑪ その他</p>
2 仮設工事	※工事範囲全て																																														
3 土工	※工事範囲全て																																														
4 地盤工事	※工事範囲全て																																														
5 鉄筋工事	※工事範囲全て																																														
6 コンクリート工事	※工事範囲全て																																														
7 鉄骨工事	※工事範囲全て																																														
8 コンクリート吹付け・ALCパネル 押出成形セメント板工事	※工事範囲全て																																														
9 防水工事	※工事範囲全て																																														
10 石工事	※工事範囲全て																																														
11 タイル工事	※工事範囲全て																																														
12 木工	※工事範囲全て																																														
13 屋根及びとい工事	※工事範囲全て																																														
14 金具工事	※工事範囲全て																																														
15 左官工事	※工事範囲全て																																														
16 建具工事	※工事範囲全て																																														
17 カーテンウォール工事	※工事範囲全て																																														
18 塗装工事	※工事範囲全て																																														
19 内装工事	※工事範囲全て																																														
20 ユニットの設置	※工事範囲全て																																														
21 排水工事	※工事範囲全て																																														
22 舗装工事	※工事範囲全て																																														
23 橋梁及び壁面緑化工事	※工事範囲全て																																														

工事名	東鷲宮駅東口立体施設整備工事（建築）		
路線名	市道鷲宮76号線		
河川名			
工事箇所	久喜市桜田1丁目地内		
図面名	建築工事特記仕様書 (1)		
縮尺	S=N.S	図面番号	A-1
埼玉県 久喜市 都市整備課			



① パーティクルボード G ② MDF G ③ 接合具等 ④ 接着剤 ⑤ 防蟻・防蟻・防虫処理 ⑥ 内部間仕切組及び床組み ⑦ 窓、出入口その他 ⑧ 床板張り ⑨ 壁及び天井下地 ⑩ 長尺金属板葺 ⑪ 折板葺 ⑫ 粘土瓦葺

① アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 ② 鉄鋼の亜鉛めっき ③ 軽量鉄骨天井下地 ④ 軽量鉄骨壁下地 ⑤ 金属成形板張り ⑥ アルミニウム製笠木 ⑦ モルタル塗り ⑧ せっこうボード ⑨ 仕上げ塗材

⑩ マスチック塗材塗り ⑪ ロックウール吹付け ⑫ しっくい塗り ⑬ 防火戸 ⑭ 見本の製作等 ⑮ 防犯建築物部 ⑯ アルミニウム製建具 ⑰ 網戸等 ⑱ 樹脂製建具

⑩ 鋼製建具 ⑪ 鋼製扉建具 ⑫ ステンレス製建具 ⑬ 木製建具 ⑭ 建具用金物 ⑮ 錠 ⑯ 自動ドア閉鎖装置

工事名 更路宮駅東口立地施設整備工事（建築） 路線名 市道駕宮76号線 工事箇所 久喜市桜田1丁目地内 図面名 建築工事特記仕様書（3） 縮尺 S=N.S 図面番号 A-3 埼玉県 久喜市 都市整備課

14 自閉式上り引戸装置
15 重量シャッター
16 軽量シャッター
17 オーバーヘッドドア
18 ガラス
19 ガラスブロック積み

カーテンウォール工事
12 塗装工事

1 取付方法、性能等
2 メタルカーテンウォール
3 PCカーテンウォール
13 材料
14 素地ごしらえ

3 錆止め塗料塗り
4 塗装
19 内装工事
1 接着剤
2 下地の工法
3 ビニル床シート
4 ビニル床タイル
5 特殊機能床材
6 ビニル幅木
7 ゴム床タイル
8 カーペット敷き

18.3.2.3 錆止め塗料の工程
18.4.1~18.12.2 塗料の種類
19.2.2.3 種類の記号
19.2.2 種類の記号
19.2.2 種類の記号
19.2.2 種類の記号
19.2.2 種類の記号
19.2.2 種類の記号
19.2.2 種類の記号
19.2.2 種類の記号

9 合成樹脂塗床
10 フローリング張り
11 畳敷き
12 セッコウボード、その他のボード及び合板張り

タイルカーベットの敷き方
タイルカーベットの敷き方
タイルカーベットの敷き方
タイルカーベットの敷き方
タイルカーベットの敷き方
タイルカーベットの敷き方
タイルカーベットの敷き方
タイルカーベットの敷き方

14 自閉式上り引戸装置
15 重量シャッター
16 軽量シャッター
17 オーバーヘッドドア
18 ガラス
19 ガラスブロック積み

工事名 夏鷲宮駅東口立地施設整備工事（建築）
路線名 市道鷲宮76号線
工事箇所 久喜市桜田1丁目地内
図面名 建築工事特記仕様書（4）
縮尺 S=N.S 図面番号 A-4
埼玉県 久喜市 都市整備課

吸音材料	ロックワール化粧吸音板	・フラットタイプ ・凹凸タイプ	・12(不燃) ・15(不燃)	
	ロックワール吸音ボード1号	・25		
	グラスワール吸音ボード3ZK	・25 (グラスクロス包)		
せっこうボード製品	・せっこうボード製品			
	・せっこうボード (GB-R)	・12.5 (不燃)	・15 (不燃)	
	・不燃積層せっこうボード (GB-NC)	・9.5 (不燃)	・化粧用 (下地専用)	
	・シージングせっこうボード (GB-S)	・12.5 (不燃)	・標準 (不燃)	
	・強化せっこうボード (GB-F)	・12.5 (不燃)	・15 (不燃)	
	・せっこうラスボード (GB-L)	・9.5		
	・化粧せっこうボード (GB-D) (木目)	・12.5 (不燃)	・幅440mm程度 ・模様 (・柱目・板目専用下地材有り)	
	・化粧せっこうボード (GB-D) (トラバーチン模様)	・9.5 (準不燃)		
	合板	・普通合板 (G)	表板の材種 生地、透明塗料塗り (※塗り程度) 不透塗料塗り (※塗り程度)	
		・天然木化粧合板 (G)	化粧板の樹種名 ( ) 厚さ (mm) ( ) 防虫処理 ・行方 ・行わない	
・特殊加工化粧合板 (G)	化粧加工の方法 (・イ・パ・レ・ア・フ・ト・塗装) 表面性状 ( ) タイプ 厚さ (mm) ( ) 防虫処理 ・行方 ・行わない			
化粧板	・メラミン樹脂化粧板	JIS K 9303による厚さ (※1.2)		
	・ポリエステル樹脂化粧板			
天井のボード類 (ロックワール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合 ※図示	合板類の張付け	・A種 ・B種		
	せっこうボードの目地工法等	目地工法の種類 ※仕上表による		
13 壁紙張り	張付け工法のエッジの種類	・ペベルエッジ ・スクエアエッジ		
	目透かし工法のエッジの種類	・ペベルエッジ ・スクエアエッジ		
14 断熱材 (G)	壁紙のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ (19.8.2、3)			
	断熱材の種類	紙 織物 発泡スチレン系 発泡ポリイソシアヌレート系 その他	防火性能 備考	
20 ユニット及びその他工事	フリーアクセスフロア	高さ (mm) 耐震性能 (N) 所定荷重 (N) 表面仕上げ材	備考	
	2 可動間仕切	パネル材料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ (20.2.3)		

3 移動間仕切	構造形式 操作方法 圧接装置の操作方法 間隔 (mm) パネル表面材	操作性 (dB/500Hz) 36未満 36以上
4 トイレブース	パネル表面仕上げの種類 詳細の種類 ドアエッジの材質 ドアエッジの形状	・メラミン樹脂化粧板 ※幅木タイプ ※製造所の標準仕様 ・標準 ・Rタイプ
5 手すり	材料の種類及び仕上げ ※SUS304 表面処理 ※HL程度	・鋼製 表面処理 滑融面処理 ※標準仕様書 表4.2.2による種類 ( 種) ・アルミニウム 表面処理 ※標準仕様書 表4.2.1による種類 ( 種) ・色合等 ・標準色 ( ) ・特注色 ( )
6 階段滑り止め	材料 ・ステンレス製 ・黄銅製押出型材	形状 ※タイヤ製 (タイヤの材質:ゴム又は合成樹脂等) ・タイヤレス製
7 黒板及びホワイトボード (G)	黒板 区分 ※書き付けの種類 ※ほうろう ・鋼製 ・色 ※緑 ・ホワイトボード ( )	取得箇所 備考
8 鏡	取得箇所 ( ) 寸法 (mm) ・図示 厚さ (mm) ※5	
9 表示	衝突防止表示 ・設置場所 ※図示による	形状 ・寸法 (・30φ) 材質 (・ステンレス製 ・塩ビシート)
10 タラップ	材質及び仕上げ ※SUS304 (スリッパ止め加工 ※あり ・なし) ・鋼製 表面処理 滑融面処理 ※標準仕様書 表4.2.2による種類 (※C種 種)	
11 煙突ライニング	適用安全使用温度 工法 ※鋼製ユニット煙突 (煙突用成形ライニング材)	
12 ブラインド	形式 操作方法 操作方式の種類 スラットの材質 寸法 (mm) アルミ・レールの材質 幅、高さ 取得箇所	
13 ロールスクリーン	製法 ブラインドのスラットの材質 アルミスラット 接付塗装仕上げ	クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工
14 カーテン	形式 開閉操作 ひだの種類 生地の種類、品質、特殊加工等 取得箇所 備考	
15 カーテンレール	生地による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押し出し成型材	強度による区分 ※10-90
16 ブラインドボックス及びカーテンボックス	寸法 (mm) ・90×150 ・120×60 ・120×150 ・150×80 ・図示	

17 天井点検口	材質 寸法 形式 外枠 内枠	※アルミニウム製 ・450×450 ・一般形 ・屋内外用 ・額縁タイプ ・額縁タイプ
18 床点検口	材質 寸法 形式 備考	・アルミニウム製 ・450×450 ・一般形 ・屋内外用 ・鍵付き
19 耐震スリット	方向 幅 (mm) タイプ 耐火性能 防水性能 備考	・幅広 ・25 ※完全 (全貫通型) ・耐火型 ・有り
20 止水版	形式 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式	
21 エキスパンションジョイント金物	材質 階区分 設置物間の寸法 (mm) 変位追従性 (mm) 耐火性能 断熱性能 備考	・7&#226;3&#226;2 ( )階〜( )階 ・スリット幅×深さ10
22 くつきマット	材質 受け枠 備考	・塩化ビニル又はゴム製 ・ステンレス製 (SUS304)
23 流し台ユニット	材質 寸法 (mm) W D H	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
24 旗竿	材質 形式 高さ (m) 操作方法 固定方法 備考	・アルミニウム合金製 ・テーパ式 ・ハンドル式 ・埋込式
25 旗竿受金物	材質 ・ステンレス製 (SUS304)	
26 車止めくさ	形式 材質 柱径、肉厚 (mm) 高さ (mm)	
27 フェンス	フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス	
28 プレキャストコンクリート	コンクリートの設計基準強度 ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m <sup>3</sup> を満足する調査強度	
29 間知石及びコンクリート間知ブロック	間知石の種類 種類 質区分 備考	・間知石 ・花こう岩 ・凝灰岩
30 網製書架及び物品棚	種類 規格等 JISによる種類	・鋼製書架 JIS S 1039の規格による ・1種 ・2種 ・3種
31 扉内掲扉	枠の材質 ※アルミニウム製	
32 洗面カウンター	材質 ・メラミン樹脂化粧板張り (芯材:集成材) ・人工大理石	
33 防塵垂れ壁	材質 厚さ (mm) 高さ (mm) 備考	・網入り壁板ガラス ※6.8 ※500 アルミ製枠付き

34 扉外掲扉	可動式 種類 材質 高さ (mm) 備考	・可動式 種類 材質 高さ (mm) 備考
35 収納家具	材質、形状、寸法 ※図示	
1 屋外雨水排水	材料 (21.2.1、2) (表21.2.1、2)	
2 鋼製ふた	種類 適用荷重 継ぎ 備考	
3 グレーチング	形式 用途 適用荷重 インバート 重鉛めつき (付荷重) 上面形状	
4 街きよ、緑石、側溝	種類 形状、寸法	
5 埋戻し	種類 形状、寸法	

工事名	夏宮駅東口立体施設整備工事 (建築)		
路線名	市道夏宮76号線		
工事箇所	久喜市桜田1丁目地内		
図面名	建築工事特記仕様書 (5)		
縮尺	S=N.S	図面番号	A-5
埼玉県 久喜市 都市整備課			

② 路盤	・路床安定処理 安定処理の方法 ・安定処理工法 ・置き換え工法 添加材料による安定処理 種類 ・高炉セメントB種 Ⅱ ・高炉セメントB種 Ⅲ ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰(・特号・1号) ・消石灰(・特号・1号) 添加量 ・ kg/m <sup>3</sup> (目標値) 3以上 ・不織布(ジオテキスタイル) 単位面積質量 ・ 60g/m <sup>2</sup> 以上 厚さ(mm) ・ 0.5~1.0 引張強さ ・ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水係数 ・ 1.5×10 <sup>-1</sup> cm/sec以上 試験 砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない 路床土の支持力比(CBR)試験 ・ 行う( 箇所) ・ 行わない 現場CBR試験 ・ 行う( 箇所) ・ 行わない 安定処理土のCBR試験 ・ 行う ・ 行わない 路床締固め度の試験 ・ 行う( 箇所) ・ 行わない 六価クロム抽出試験 ・ 行う ・ 行わない												
	路盤及び厚さ ・ 図示 (22.3.2、3)(表22.3.1) 路盤材料(標準仕様書 表22.3.1による種別) 種別 ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 再生材 ・再生クラッシュラン Ⅱ ・再生粒度調整砕石 Ⅱ ・クラッシュラン鉄線スラグ Ⅱ ・粒度調整鉄線スラグ Ⅱ ・水硬性粒度調整鉄線スラグ Ⅱ												
③ アスファルト舗装	アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 (22.4.2~4、6)(表22.4.1、4) 材料及び種類 アスファルト ・ 再生アスファルト Ⅱ 標準仕様書 表22.4.1による種別 ・ 60~80 ・ 80~100 ・ストレートアスファルト 骨材 ・道路用砕石 アスファルトコンクリート再生骨材 Ⅱ 加熱アスファルト混合物の種類 ・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ・密粒度アスファルト混合物(13F) 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度												
④ コンクリート舗装	構成及び厚さ (22.5.2~4)(表22.5.1~3) 舗装の種類 部位 構成 厚さ(mm) コンクリート舗装 ・車路、駐車場 ※図示 ・ 図示 ・歩行者用通路 ※図示 ※70 材料 コンクリート ※普通コンクリート 標準仕様書表22.5.1による ・以下による コンクリートの種類 ・設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> ) ・所定のスランプ(cm) ※8 ・粗骨材の最大寸法(mm) 早強ポルトランドセメント ・ 使用する ・ 使用しない 注入目地材料 ※低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 目地 種類 ※標準仕様書表22.5.3による 間隔 ※標準仕様書表22.5.3による m程度ごと 構造 ※標準仕様書表22.5.1による 図示 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度												
⑤ カラー舗装	・加熱系カラー舗装 構成及び厚さ ※図示 加熱系混合物の特許材 アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 顔料の添加量(%) 添加材 着色骨材( ) 自然石( ) ・常温系カラー舗装 ニート工法(配合その他: ) 工法 ・ 塗布工法(配合その他: ) 着色部の下部 ・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度												
⑥ 透水性アスファルト舗装	透水性舗装の構成及び厚さ ※図示 (22.7.2、3、6) 材料 ・道路用砕石 骨材 ・アスファルトコンクリート再生骨材 Ⅱ 標準仕様書 表22.4.1による種別 ・ 60~80 ・ 80~100 舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの 試験 閉粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない 透水性コンクリート舗装 コンクリート舗装に対する基準値 <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>基準値</th></tr> <tr><td>最大粒径(mm)</td><td>13</td></tr> <tr><td>空隙率(%)</td><td>20以上</td></tr> <tr><td>透水係数(cm/s)</td><td>1×10<sup>-2</sup>以上</td></tr> <tr><td>目地の間隔</td><td>敷厚の20倍程度</td></tr> </table> 構成、厚さはコンクリート舗装による ・不織布(ジオテキスタイル) 敷設位置 ※図示 ・数砂層と路盤の間に敷設 ・ フィルター層と路床の間に敷設 透水性コンクリート平板舗装 (22.8.2、3) 透水性コンクリート平板舗装は、ブロック系舗装による 透水性インターロッキングブロック舗装 (22.8.2、3) 透水性インターロッキングブロック舗装は、ブロック系舗装による	項目	基準値	最大粒径(mm)	13	空隙率(%)	20以上	透水係数(cm/s)	1×10 <sup>-2</sup> 以上	目地の間隔	敷厚の20倍程度		
項目	基準値												
最大粒径(mm)	13												
空隙率(%)	20以上												
透水係数(cm/s)	1×10 <sup>-2</sup> 以上												
目地の間隔	敷厚の20倍程度												
⑦ 半たわみ性舗装	区分 種類 厚さ(mm) 表層 半たわみ性舗装用アスファルト混合物Ⅰ型(13) 40 基層 再生粗粒度アスファルト混合物(20) 40 試験 半たわみ性舗装用アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない 材料 浸透用セメントミルクの標準的な性状 <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>性状</th><th>試験方法</th></tr> <tr><td>フロー値(P-ロード)砂</td><td>10~14</td><td>舗装調査・試験法便覧(C041)</td></tr> <tr><td>圧縮強度(7日養生)MPa</td><td>9.8~29.4</td><td>JIS R 5201</td></tr> <tr><td>曲げ強度(7日養生)MPa</td><td>2.0以上</td><td>舗装調査・試験法便覧(C042)</td></tr> </table>	項目	性状	試験方法	フロー値(P-ロード)砂	10~14	舗装調査・試験法便覧(C041)	圧縮強度(7日養生)MPa	9.8~29.4	JIS R 5201	曲げ強度(7日養生)MPa	2.0以上	舗装調査・試験法便覧(C042)
項目	性状	試験方法											
フロー値(P-ロード)砂	10~14	舗装調査・試験法便覧(C041)											
圧縮強度(7日養生)MPa	9.8~29.4	JIS R 5201											
曲げ強度(7日養生)MPa	2.0以上	舗装調査・試験法便覧(C042)											

⑧ 弾性舗装	配合 半たわみ性舗装用アスファルト混合物の標準配合 <table border="1"> <tr><th>ふるいの呼び名</th><th>ふるい通過質量百分率(%)</th></tr> <tr><td>19.0 mm</td><td>100</td></tr> <tr><td>4.75 mm</td><td>95~100</td></tr> <tr><td>2.36 mm</td><td>10~35</td></tr> <tr><td>600 μm</td><td>5~22</td></tr> <tr><td>300 μm</td><td>4~15</td></tr> <tr><td>75 μm</td><td>3~12</td></tr> <tr><td>アスファルト量(%)</td><td>1~6</td></tr> <tr><td></td><td>3~4.5</td></tr> </table> 半たわみ性舗装用アスファルト混合物のマーシャル安定度試験に対する基準値 <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>基準値</th></tr> <tr><td>密度 g/cm<sup>3</sup></td><td>1.9以上</td></tr> <tr><td>安定度(kN)</td><td>2.94以上</td></tr> <tr><td>フロー値(1/100cm)</td><td>20~40</td></tr> <tr><td>空隙率(%)</td><td>20~28</td></tr> <tr><td>空隙率回数(回)</td><td>50</td></tr> </table> 施工 半たわみ性舗装用アスファルト混合物等の施工は、標準仕様書22.4.5による。 浸透用セメントミルクの施工は、(1)から(5)による。 (1) 浸透用セメントミルクの製造は、一般に移動式ミキサーによって行うが、工事現場が大きい場合には専用の移動式や固定式の混合プラントを用いることもある。 (2) 浸透用セメントミルクの施工は、一般に舗装体表面の温度が50℃程度以下になつてから行う。その場合、舗装体にかみ、泥、水などが残っていないことを確認する。浸透作業は、一般に振動ローラー等により行う。 (3) セメントミルクが舗装表面に残っていると、路面のすべり抵抗値を低下させることがあるので、舗装表面の骨材の凹凸が現れる程度にセメントミルクをゴムレキ等で除去する。特にすべり止め対策を必要とするところは、粒砂の使用及び発射セメントミルクのよりいっそう除去後、材料や施工法等で対応するか、場合によっては施工後ショットプラスチックで表面を粗くすることが必要である。 (4) 交通開放までの一般的な養生期間は、下表に示すとおりである。 <table border="1"> <tr><th>セメントミルクの種類</th><th>養生期間</th></tr> <tr><td>普通タイプ</td><td>約1日</td></tr> <tr><td>早強タイプ</td><td>約1日</td></tr> <tr><td>超速硬化タイプ</td><td>約3時間</td></tr> </table> (5) 浸透用セメントミルクを注入する前に交通開放すると、骨材の割傷や飛散、またはかみ、泥等による汚染が生じることがあるので、基本的に注入前に交通開放を行わないようにする。 締固め度 標準仕様書22.4.2(2)による 舗装厚さの許容差 ※標準仕様書 22.4.2(3)による 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度	ふるいの呼び名	ふるい通過質量百分率(%)	19.0 mm	100	4.75 mm	95~100	2.36 mm	10~35	600 μm	5~22	300 μm	4~15	75 μm	3~12	アスファルト量(%)	1~6		3~4.5	項目	基準値	密度 g/cm <sup>3</sup>	1.9以上	安定度(kN)	2.94以上	フロー値(1/100cm)	20~40	空隙率(%)	20~28	空隙率回数(回)	50	セメントミルクの種類	養生期間	普通タイプ	約1日	早強タイプ	約1日	超速硬化タイプ	約3時間		
	ふるいの呼び名	ふるい通過質量百分率(%)																																							
19.0 mm	100																																								
4.75 mm	95~100																																								
2.36 mm	10~35																																								
600 μm	5~22																																								
300 μm	4~15																																								
75 μm	3~12																																								
アスファルト量(%)	1~6																																								
	3~4.5																																								
項目	基準値																																								
密度 g/cm <sup>3</sup>	1.9以上																																								
安定度(kN)	2.94以上																																								
フロー値(1/100cm)	20~40																																								
空隙率(%)	20~28																																								
空隙率回数(回)	50																																								
セメントミルクの種類	養生期間																																								
普通タイプ	約1日																																								
早強タイプ	約1日																																								
超速硬化タイプ	約3時間																																								
⑨ ブロック系舗装	弾性舗装(歩行者用通路)の構成及び厚さ ※図示 <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>種類</th><th>厚さ(mm)</th></tr> <tr><td>表層</td><td>弾性舗装材</td><td>15~20</td></tr> <tr><td>基層</td><td>再生粗粒度アスファルト混合物(13)</td><td>30</td></tr> </table> 加熱アスファルト混合物は、アスファルト舗装による ・コンクリート平板舗装 Ⅱ (22.8.2、3) ※図示 <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>寸法(mm)</th><th>厚さ(mm)</th><th>目地材</th><th>備考</th></tr> <tr><td>※普通平板(N)</td><td>※300角</td><td>※60</td><td>※砂</td><td>表面加工</td></tr> <tr><td>※透水性平板(P)</td><td></td><td></td><td>・モルタル</td><td>・研ぎ出し</td></tr> <tr><td>・保水性平板(M)</td><td></td><td></td><td></td><td>・洗い出し</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・たたき出し</td></tr> </table> 数砂層 ・砂 ・空練りモルタル クッション材 ※砂 ・ 空練りモルタル 歩行者用通路に使用する普通ブロックは Ⅱ(再生材料を用いた舗装用ブロック)、 透水性ブロックは Ⅲ(透水性コンクリート)とする。 仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。	区分	種類	厚さ(mm)	表層	弾性舗装材	15~20	基層	再生粗粒度アスファルト混合物(13)	30	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考	※普通平板(N)	※300角	※60	※砂	表面加工	※透水性平板(P)			・モルタル	・研ぎ出し	・保水性平板(M)				・洗い出し					・たたき出し						
区分	種類	厚さ(mm)																																							
表層	弾性舗装材	15~20																																							
基層	再生粗粒度アスファルト混合物(13)	30																																							
種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考																																					
※普通平板(N)	※300角	※60	※砂	表面加工																																					
※透水性平板(P)			・モルタル	・研ぎ出し																																					
・保水性平板(M)				・洗い出し																																					
				・たたき出し																																					
⑩ インターロッキングブロック舗装 Ⅱ	<table border="1"> <tr><th>種類</th><th>部位</th><th>形状寸法</th><th>厚さ(mm)</th><th>曲げ強度(N/mm<sup>2</sup>)</th><th>横断面勾配</th><th>目地材</th><th>備考</th></tr> <tr><td>※普通ブロック(N)</td><td>車路、駐車場</td><td>※図示</td><td>※80</td><td>※5.0</td><td>2%</td><td>砂</td><td>色彩、表面加工・標準品</td></tr> <tr><td>※普通ブロック(N)</td><td>歩行者用通路</td><td>※図示</td><td>60</td><td>※3.0</td><td>1.5~2%</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>※透水性ブロック(P)</td><td>用通路</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・保水性ブロック(M)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> クッション材 ※砂 ・ 空練りモルタル 歩行者用通路に使用する普通ブロックは Ⅱ(再生材料を用いた舗装用ブロック)、 透水性ブロックは Ⅲ(透水性コンクリート)とする。 仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は3mm以内とする。	種類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm <sup>2</sup> )	横断面勾配	目地材	備考	※普通ブロック(N)	車路、駐車場	※図示	※80	※5.0	2%	砂	色彩、表面加工・標準品	※普通ブロック(N)	歩行者用通路	※図示	60	※3.0	1.5~2%			※透水性ブロック(P)	用通路							・保水性ブロック(M)							
	種類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm <sup>2</sup> )	横断面勾配	目地材	備考																																	
※普通ブロック(N)	車路、駐車場	※図示	※80	※5.0	2%	砂	色彩、表面加工・標準品																																		
※普通ブロック(N)	歩行者用通路	※図示	60	※3.0	1.5~2%																																				
※透水性ブロック(P)	用通路																																								
・保水性ブロック(M)																																									
⑪ 舗石舗装	<table border="1"> <tr><th>種類</th><th>形状・寸法(mm)</th><th>厚さ(mm)</th><th>張り方</th><th>基層</th><th>基層の厚さ(mm)</th></tr> <tr><td>・花こう岩</td><td>・ 図示</td><td></td><td>・ うろこ張り</td><td>・ コンクリート版</td><td>※70</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・ 7x7x7混合物</td><td>※70</td></tr> </table> クッション材 ※砂 ・ 空練りモルタル 仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内とする。	種類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	張り方	基層	基層の厚さ(mm)	・花こう岩	・ 図示		・ うろこ張り	・ コンクリート版	※70					・ 7x7x7混合物	※70																						
種類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	張り方	基層	基層の厚さ(mm)																																				
・花こう岩	・ 図示		・ うろこ張り	・ コンクリート版	※70																																				
				・ 7x7x7混合物	※70																																				

10 砂利敷き	種別 (22.9.2)(表22.9.1) ・A種(施工範囲: 図示 ・ 道路 ) ・B種(施工範囲: 図示 ・ 建物周囲敷 )																		
11 路面標示用塗料	路面標示用塗料は JIS K 5665 による。 <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>施工</th><th>液状</th><th>色</th><th>幅(mm)</th><th>塗布厚さ(mm)</th></tr> <tr><td>・1種 Ⅱ</td><td>常温</td><td>液状</td><td>・白</td><td>・150</td><td>・1.0</td></tr> <tr><td>・2種 Ⅱ</td><td>加熱</td><td></td><td></td><td>・100</td><td></td></tr> </table> ※3種1号 溶解 粉体状 Ⅱ 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料	種類	施工	液状	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)	・1種 Ⅱ	常温	液状	・白	・150	・1.0	・2種 Ⅱ	加熱			・100	
種類	施工	液状	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)														
・1種 Ⅱ	常温	液状	・白	・150	・1.0														
・2種 Ⅱ	加熱			・100															
1 植栽地の確認等	土壌の水素イオン濃度(pH)試験 ・ 行う ・ 行わない (23.1.6) 電気伝導度(EC)の試験 ・ 行う ・ 行わない																		
2 植栽基礎の整備	(23.2.2) <table border="1"> <tr><th>植栽</th><th>工法</th><th>有収土層の厚さ(cm)</th><th>整備範囲</th><th>土壌改良材</th></tr> <tr><td>・樹木</td><td>※A種 B種 C種 D種</td><td>樹高12m以上 (※100・120・150) 樹高7m以上~12m未満 (※80・100) 樹高3m以上~7m未満 (※60・80) 樹高3m未満 (※50・60)</td><td>・ 濃張り部分 ・ 植栽帯部分 図示</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr> </table> ※芝、地味類 ※B種 ※20 ・ 植栽部分 ・ 図示 ・ 適用する ・ 適用しない 植栽基礎の排水設備 ・ 設ける(※図示) ・ 設けない ・ 現場発土の良質土 ・ 客土 (23.2.3)	植栽	工法	有収土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材	・樹木	※A種 B種 C種 D種	樹高12m以上 (※100・120・150) 樹高7m以上~12m未満 (※80・100) 樹高3m以上~7m未満 (※60・80) 樹高3m未満 (※50・60)	・ 濃張り部分 ・ 植栽帯部分 図示	・ 適用する ・ 適用しない								
植栽	工法	有収土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材															
・樹木	※A種 B種 C種 D種	樹高12m以上 (※100・120・150) 樹高7m以上~12m未満 (※80・100) 樹高3m以上~7m未満 (※60・80) 樹高3m未満 (※50・60)	・ 濃張り部分 ・ 植栽帯部分 図示	・ 適用する ・ 適用しない															
3 植込み用土	・ 現場発土の良質土 ・ 客土 (23.2.3)																		
4 土壌改良材	種類及び指定量等 (23.2.3) ・バーク堆肥 Ⅱ 施工箇所 ※植栽範囲 使用量 植栽基礎面積1㎡あたり(・50L) ( ) ・発泥発酵肥料(下水汚泥コンポスト) Ⅱ 施工箇所 ※植栽範囲 使用量 植栽基礎面積1㎡あたり(・10L) ( ) 材料 ・含腐質を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、種番試験の結果、香が認められないものとする。																		
5 樹木	樹種、寸法、株立数等 ※図示 (23.3.2)																		
6 支柱	支柱材 ※丸太(間伐材) Ⅱ 防腐処理方法 ※加圧防腐処理丸太材 形式 図示 (23.3.2、3)																		
7 幹巻き用材料	材料 ※幹巻き用テープ ・ わら及びこも (23.3.2)																		
8 芝	種類 ※コウライシバ ・ ノシバ (23.4.2、3) 芝張りの工法 平地 ※目地張り ・ ベタ張り 法面 ・ 目地張り ※ベタ張り法面																		
9 収付けは種	<table border="1"> <tr><th>種子の種類</th><th>発芽率</th><th>種子の量(g/m<sup>2</sup>)</th><th>備考</th></tr> <tr><td>※洋芝類(採取後2年以内)</td><td>※発芽率80%以上</td><td></td><td></td></tr> </table>	種子の種類	発芽率	種子の量(g/m <sup>2</sup> )	備考	※洋芝類(採取後2年以内)	※発芽率80%以上												
種子の種類	発芽率	種子の量(g/m <sup>2</sup> )	備考																
※洋芝類(採取後2年以内)	※発芽率80%以上																		
10 地被類	(23.4.2) <table border="1"> <tr><th>樹種</th><th>コンテナ数</th><th>単位面積当たりのコンテナ数</th><th>非立数</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	樹種	コンテナ数	単位面積当たりのコンテナ数	非立数														
樹種	コンテナ数	単位面積当たりのコンテナ数	非立数																
11 新植樹木、芝等の枯損償	(23.3.4、6)(23.4.7)(23.5.5) 新植樹木(芝張り、収付けは種及び地被類を含む)の枯損償の期間 ※引渡しの日から1年 着し 移植樹木の枯損償を行う期間 ※引渡しの日から1年 着し																		
12 屋上緑化 Ⅱ	(23.5.2~4) 植栽基礎及び材料 ・屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・ 図示 排水層 ・ 軽質骨材(層の厚さ: ) ・ 板状成型品 植込み用土 ※改良土 ・ 人工軽量土 樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等 ※図示 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示 支柱 ・ 設置する(形式 図示) かん水装置 ・ 設置する(種類 ) 工法 「腐根ふき材及び屋上に面する構造物の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日 建設省令第145号)に基づく風圧に対応した工法 ・ 図示による																		

23 植栽及び屋上緑化工事

工事名	更路宮駅東口立体施設整備工事(建築)		
路線名	市道更路宮76号線		
河川名			
工事箇所	久喜市桜田1丁目地内		
図面名	建築工事特記仕様書(6)		
縮尺	S=N.S	図面番号	A-6
埼玉県 久喜市 都市整備課			